

令和7年度 予算のお知らせ

健康保険

7億3,960万円の赤字予算となりました

予算総額 ▶ 69億4,261万円 健康保険料率 ▶ 9.6% (据え置き)

● 予算編成の背景

健保組合を取り巻く環境は、少子高齢化の進行により一層厳しさを増しています。令和7(2025)年は、すべての団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、高齢者医療への納付金負担が急増する「2025年問題」に直面します。これにより、多くの健保組合が赤字に陥ることが予想され、健保財政がさらに悪化することが懸念されています。

こうしたなか、昨年12月には健康保険証が廃止され、マイナンバーカードとの一体化が実施されるなど、国全体で医療DXが推進され、医療の質向上や効率化が進められています。また、現役世代の負担増を抑えるため、全世代が負担能力に応じて支え合う全世代型社会保障の構築に向けて制度改革が進められていますが、現役世代のさらなる負担増は避けられない厳しい状況です。

● 予算の概要

令和7年度は、保険料算出の基礎となる被保険者数の増加や、給与・賞与の上昇を背景に、

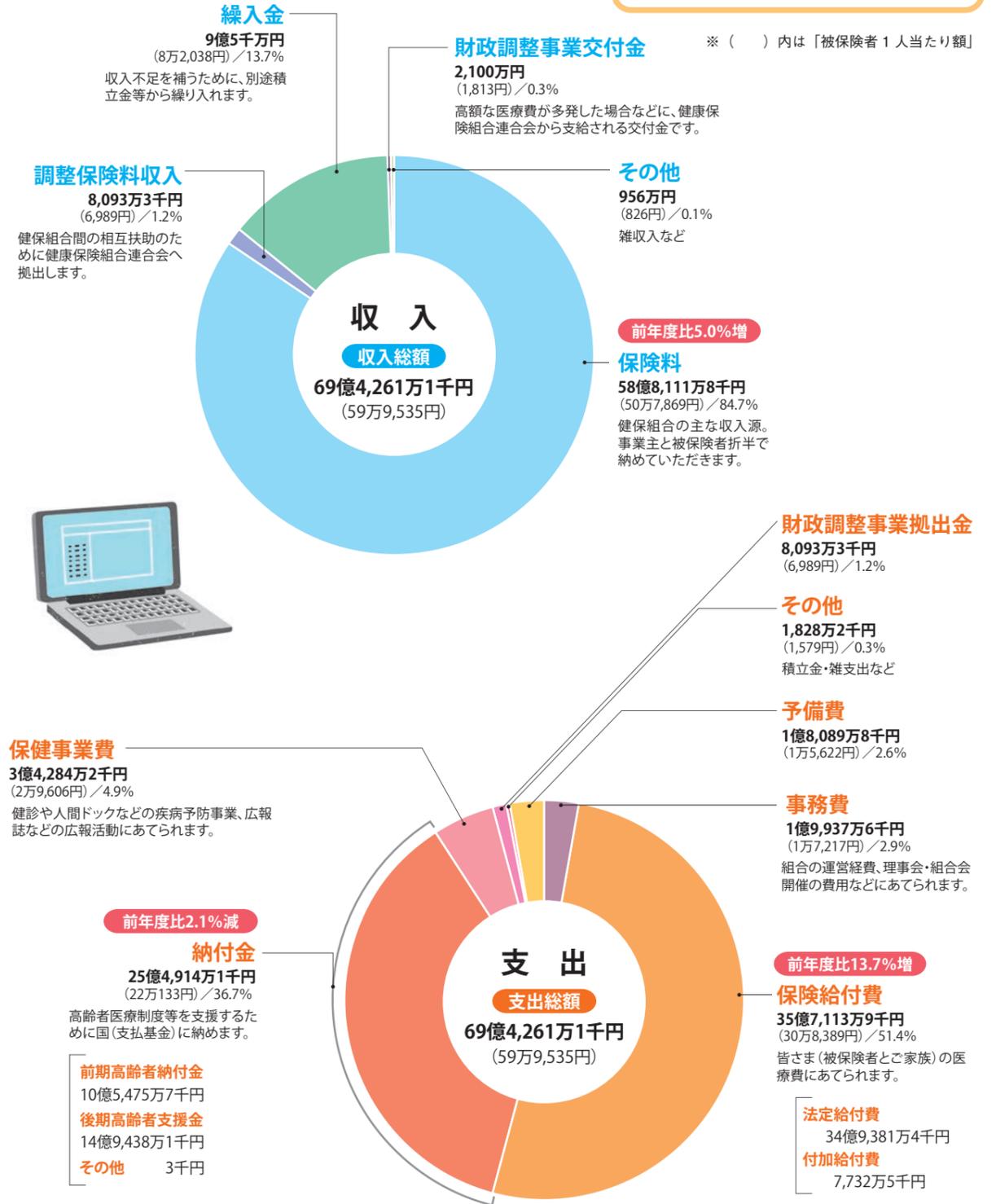
保険料収入は前年度比5%増の58億8,112万円を見込んでいます。

一方、主な支出では、被保険者・ご家族の医療費等にアてる保険給付費が同14%増の35億7,114万円、高齢者医療制度を支えるための納付金が同2%減の25億4,914万円、被保険者・ご家族の健康づくりのための保健事業費が同4%増の3億4,284万円となる見込みです。

この結果、実質的な収支状況を示す経常収支は7億3,960万円の赤字となりますが、過去の剰余金である別途積立金から9億円を取り崩すことで収支の均衡を図り、令和7年度の保険料率は9.6%を維持することとしました。

当健保組合におきましては、引き続き事業の効率化と経費節減に努め、安定的な財政運営を図ってまいります。また、皆さまが心身ともに健やかな毎日を送れるよう、各種保健事業を展開してまいります。皆さまにおかれましても、健康診断の受診や、ジェネリック医薬品・リフィル処方箋の活用など、医療費節減にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年度
収入支出予算総額
69億4,261万1千円



介護保険

予算総額 ▶ 6億9,412万円

介護保険料率 ▶ 1.6% (据え置き)

介護保険は、高齢者の介護をサポートする制度で、市区町村によって運営されています。健保組合は、介護保険料を国に代わって徴収し、納めていただいた介護保険料をそのまま国に納めています。

健保組合では、毎年度、国から割り当てられる介護納付金を賄うのに必要な料率を算出して介護保険料率を決定しています。令和7年度は介護納付金6億2,971万円に対し、介護保険収入5億9,411万円を見込んでいます。収入不足が見込まれますが、準備金を繰り入れて補てんし、介護保険料率は据え置いて予算を編成いたしました。

収入

科目	予算額(千円)	第2号被保険者たる被保険者1人当たり額(円)
介護保険収入	594,112	102,433
繰入金	100,000	17,241
雑収入	3	-
合計	694,115	119,675

支出

科目	予算額(千円)	第2号被保険者たる被保険者1人当たり額(円)
介護納付金	629,711	108,571
介護保険料還付金	1,000	172
積立金	1	-
予備費	63,403	10,932
合計	694,115	119,675